

「続く」を支える。

「続く」を支える。

ヤマタネ

ヤマタネグループ 会社案内



信為萬事本

「信は万事の本を為す」――。

この言葉は、人の信用を得ることがすべての基本との想いから、ヤマタネグループの創業者である故山崎種二が信奉していたもので、現在では、私たちヤマタネグループの企業理念となっている言葉です。山崎種二はこの言葉をあらゆる面で誠実に実行することで大きな信用を得て、ヤマタネの基盤を築きあげました。

いま、国内外の社会情勢は大きく揺れ動いています。

しかし、いかなる時代になろうとも「信は万事の本を為す」という企業理念はあらゆる面で通じる言葉です。

たとえば、人と人との関係、仕事先との関係、そして国際外交の原則でも。

創業以来の企業理念を誠実に守りながら、

新しい時代が求める企業へ、新しいステージへと、

ヤマタネは常に、着実に階段を昇り続けてまいります。

山種経営三原則

- 分に応じた経営
- 積み上げ主義
- 予算経営

「続く」を支える。

いままでずっと、続けてきた。
これからもずっと、続けていく。

「続く」こと、それは当たり前に見えるかもしれませんが。

ただ、私たちは知っています。
続けることの難しさを。その裏にある“想い”を。

だから、私たちは今日のお客様のご依頼に応え、明日の理想を共に考えます。

お客様が企業としての成長を目指し、安心して事業を続けられるように、
そして、社会に実りが少しでも増え続けるように。

私たちはいかなる時もパートナーとして、信頼の絆を深め、
プロフェッショナルとして、常に最適な“解”を提供し続けます。

それこそがヤマタネの存在意義であり、
期待され、求められる、私たちのあり方です。

お客様と社会と共に一歩、前へ、先へ、まっすぐに歩み続けます。

ヤマタネは、あなたの「続く」を支えます。





代表取締役社長

山崎元裕

トップメッセージ

ヤマタネグループは1924年7月3日に山崎種二が創業した廻米問屋を基にしています。事業の変遷を重ね、現在は物流・食品・情報・不動産と4つの事業分野に集中しています。一方で、創業者が大切にしたい「信は万事の本を為す」は、時代が移り世代が変わろうとも普遍であると考え、これを企業理念として掲げています。

また創業者は、常に「働き一両 考え五両」を意識し、行動していました。一所懸命に働きながら、次への手掛かりを模索し新たに挑むことを怠りませんでした。

ヤマタネグループは間もなく創業100年を迎えます。これまでの歴史はお客様、お取引先様、株主様、地域の皆さまをはじめとする多くの方々のお力に由るものと、大変感謝しております。それゆえ、持続可能な社会を実現するためにも、皆さまの想いを支えていくことが我々の責務だと考えます。

ヤマタネグループは、2019年から“「続く」を支える。”を標榜しています。ステークホルダーである皆さまそれぞれの「続く」を支えることこそが我々の存在意義です。我々の事業はいずれも社会生活に不可欠であり、深いつながりがあるそれぞれの事業をさらに融合させていくことで新たなサービスを創出して参ります。

世界中が大きな変革期を迎えている今、現在の事業に注力するとともに常に考え続け、新たな挑戦を開始いたします。

物流事業

Logistics Service

株式会社ヤマタネ
株式会社ヤマタネロジスティクス
株式会社シンヨウ・ロジ
株式会社ヤマタネロジワークス

お客様の“想い”をつなぐため、
物流パートナーとして
最適なサービスを提供し続けます。

食品事業

Rice Merchandising

株式会社ヤマタネ
株式会社ショクカイ
株式会社ヤマタネロジワークス

日本の食文化を支えるため、
作り手と食卓をつなぐパートナーとして
「おいしい」「安心」「楽しい」を提供し続けます。

情報事業

Information System

株式会社ヤマタネ
株式会社ヤマタネシステムソリューションズ

ビジネスの成功に貢献するため、
ITパートナーとして
お客様と共に歩み、共に創り続けます。

不動産事業

Real Estate Business

株式会社ヤマタネ
山種不動産株式会社

お客様の事業成長に貢献するため、
ビジネス環境パートナーとして
快適な執務空間を提供し続けます。



「続く」を支える。

物流事業

Logistics Service

お客様の“想い”をつなぐため、
物流パートナーとして
最適なサービスを提供し続けます。



物流サービス		
物流センター	流通加工	輸配送 / 共同配送
フォワーディング	輸出入通関	海外引越
物流不動産	アーカイブズ / 文書保管	静脈物流 / 修理センター

ヤマタネグループは調達から生産・販売・静脈物流に至るまで、お客様の企業活動を支える物流プラットフォームを提供します。

物流センター

お客様の物流課題を共に解決します。

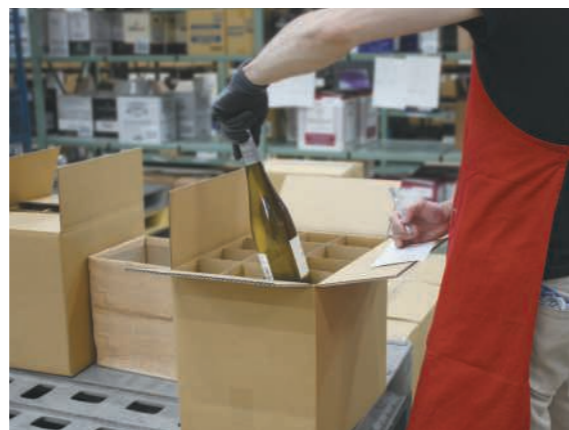
首都圏・近畿圏を中心に多数の拠点やネットワークを有し、さまざまな形の物流サービスを提供しています。また、貨物特性に応じた設備選定や長年のノウハウと各種認証に基づいた管理体制で「安心」を提供します。



流通加工

検品・ラベル貼りなど
品質保持や販売促進をサポートします。

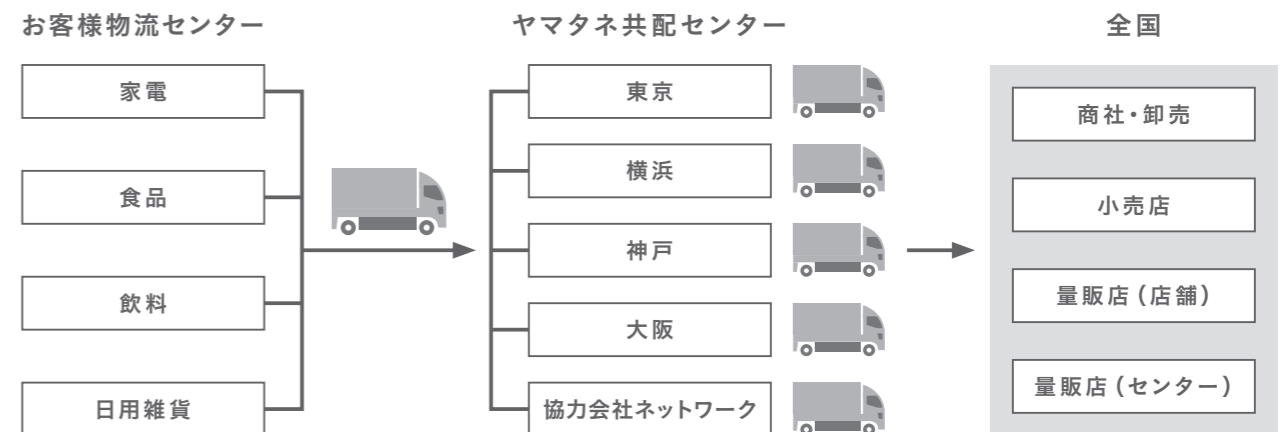
豊富な作業実績を持つグループ・協力会社と連携し、お客様の求める最適な品質と納期にお応えします。各種キャンペーンに対する細かなご要望にも対応し、販売機会を逃さないようにサポートします。



輸配送 / 共同配送

配送共同化のプラットフォームを提供し、環境負荷の低減に貢献します。

ご指定の場所から集荷し、当社グループの拠点に集約、各方面に仕分け後、納品先一括でお届けします。特に家電・食品・飲料の分野では業界に先駆けて事業化しており、多くの企業様にご利用いただいています。



■首都圏主要エリアにおける
きめ細かな配送体制を構築

■お客様運送費の負担軽減
■環境負荷の低減

高品質で多彩なサービスを展開し、
物流にかかわるあらゆるニーズにお応えします。

フォワーディング

安全・確実なフォワーディングにより
国際物流のニーズにお応えします。

世界85か国300都市を網羅する海外代理店と連携し、グローバルなネットワークを活かして、安全・確実な海上及び航空フォワーディングを実現しています。お客様のさまざまな国際物流のニーズにお応えし、ロジスティクス戦略の強化に貢献します。

海外引越

170を超える国でのネットワーク
をもとに海外引越をサポートします。

1984年より海外引越事業をスタートし、現在では170を超える国でネットワークを有しています。お客様のご事情に合わせて真心を込めたカスタムメイドのサービスを実施しており、日系・外資系企業や官公庁等のお客様から高い評価をいただいています。

アーカイブズ / 文書保管

セキュアな環境での文書保管のほか
電子化などのニーズにも対応します。

高度なセキュリティを有した専用倉庫で、機密文書・書類の保管を行うほか、最短翌日の集配、未開封溶解処理による廃棄などにも対応。ご依頼は専用のWebシステムでもご利用いただけます。さらに、契約書類などの電子化サービスも展開しています。

輸出入通関

東京・横浜・神戸の3拠点連携により
滞りのない通関サービスを提供します。

AEO通関業者（認定通関業者）の認定を取得しており、輸出入申告官署の自由化メリットを活かした柔軟な通関体制を構築しています。お客様のBCP対応や、場所に捉われない窓口の一本化等のニーズにもお応えします。

物流不動産

リーシング・リノベーションなど
物流施設の最適な活用を提案します。

リーシングの基本となる物流施設の賃貸・仲介をはじめ、倉庫内荷役・配送を含めたロジスティクスの構築もサポートします。また、既存倉庫の構造的特徴を活かしたリノベーションや物流倉庫からオフィスへの転用の支援などを通して、オンリーワンの空間を提供します。



当社物流事業の一例

■ 食品物流

工場向け原料、卸・大型店舗向け製品等、
多種多様な食品物流に対応します。

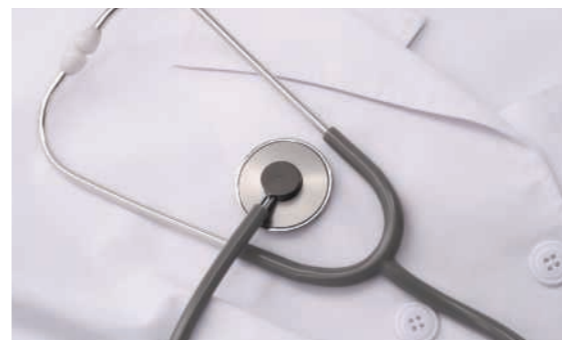
廻米問屋から始まったヤマタネは、長きにわたり積み重ねてきた食品物流の歴史と実績を背景に、現在では幅広い食品の物流に対応しています。厳格な管理基準と独自の輸配送ネットワークにより、食の安全・安心に貢献します。



■ メディカル物流

厳格な品質管理のもと、医療・介護品の
共同物流を実施しています。

医療機器製造業、高度管理医療機器販売業の認証を取得し、医療機器、医療用品、介護用品の共同物流を実現しています。また、ISO13485認証を取得しており、厳格な品質管理のもと、メディカル物流を実施しています。



■ 家電物流

輸入から消費者までの物流機能を
ワンストップで構築します。

輸入基地機能と配送センター機能を備えたワンストップ物流機能を構築しています。輸入家電の入荷から配送まで一貫した管理体制で、高品質な物流サービスを提供します。



■ 静脈物流 / 修理センター

産業廃棄物の収集から処分・再生 / 修理
まで一貫したサービスを提供します。

グループ会社及び協力会社が産業廃棄物収集運搬（積替保管を含む）の許可のもと、静脈物流を展開しています。また、修理センター業務のニーズにもお応えしており、お客様のCSR活動、そして循環型社会の形成を動脈物流・静脈物流の両面からサポートします。



日本の食文化を支えるため、
作り手と食卓をつなぐパートナーとして
「おいしい」「安心」「楽しい」を提供し続けます。

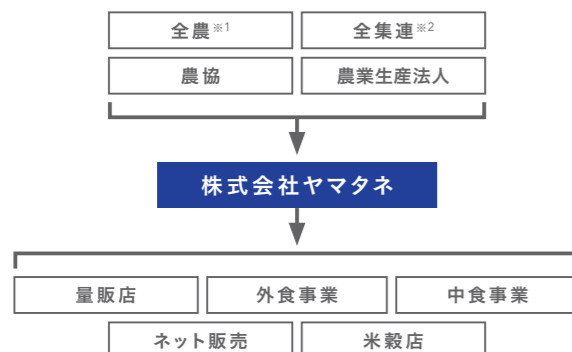


ヤマタネグループは食品事業を通じて、日本の食文化を支えながら
生産地と協働し、地域農業の維持・発展に努めていきます。

仕入れ

生産地との協働体制を構築し、
お米の安定供給を実現しています。

ヤマタネでは、お客様が求める「安全」「安心」「良食味」のお米を確保するため、全国の優良産地と取引関係を構築しています。また、幅広い原料購買ルートを開拓しており、お米を安定供給するために、生産地との協働体制を構築しています。



※1: 全国農業協同組合連合会
※2: 全国主食集荷協同組合連合会

商品開発

生産地との信頼関係を軸に、お客様の
ニーズに合わせた商品を提供します。

マーケット動向やトレンド、お客様の用途に合わせた多彩な商品を取り揃えています。データ分析、新商品の開発、販売促進活動を通じ、お客様の食のシーンに最適な商品を提案します。



製造(生産・品質管理)

万全な生産体制を構築し、
品質管理も徹底しています。

首都圏の生産拠点で、お客様のニーズに合わせた商品を製造しています。SQF※やISO等の国際規格に基づいた製造管理を行っており、商品の品質検査のみならず原料受け入れ段階においても厳格な検査を実施することで品質の安定化を図っています。また、確かな商品を提供するため、DNA検査装置を用いた検査を自社で実施しています。

※SQF (Safe Quality Food): 食品の安全と品質の確保に向けた国際規格。食品の安全性を管理する「HACCP」と品質マネジメントシステムである「ISO9001」の要素が取り入れられている。



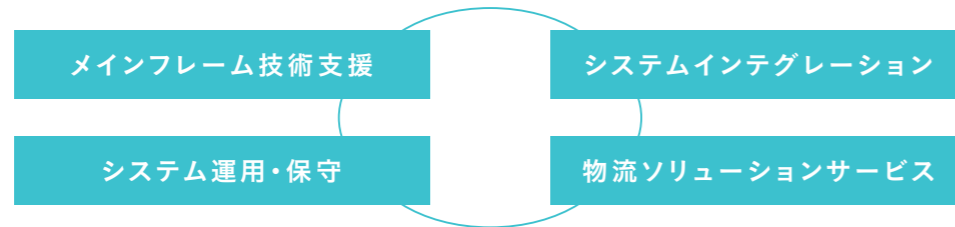
配送

物流事業の経験とネットワークを
活かした安全・確実な配送を行います。

物流事業で培ってきたノウハウときめ細かい物流網を活用し、お客様のもとへ安全・スピーディに商品をお届けします。また、当社工場より出荷される商品については、グループ会社協力のもと、お客様のさまざまなご要望に沿った形態で納品を行います。



ビジネスの成功に貢献するため、
ITパートナーとして
お客様と共に歩み、共に創り続けます。



グループ会社のヤマタネシステムソリューションズが、幅広い分野で
ITソリューションと運用サポートサービスを展開しています。

メインフレーム技術支援

**システム基盤構築・保守の
ワンストップサービスを提供します。**

メインフレーム及びオープン系システムを取り巻く各種ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク等を対象に、豊富な経験と実績を持つエンジニアによる技術支援サービスを提供します。

計画、設計、構築、テスト、移行、運用、保守の各種工程での更改造業を実施します。

主な事例

- 銀行勘定系システム技術支援
- 銀行・共同化システム構築・保守

システムインテグレーション

**お客様の事業戦略を支援する
業務システムを構築します。**

物流、流通、製造、金融などの業種のお客様向けに、システム開発サービスを提供しています。創業以来培ってきた豊富な開発経験を活かして事業目的に直結するソリューションを提案し、グローバルなビジネス展開など、お客様の事業戦略を支援します。

主な事例

- システム開発・保守（生命保険、製造業会計）
- Web受注システム構築



システム運用・保守

**24時間365日、万全の体制で
お客様のシステムを守り続けます。**

24時間365日対応の安心・安全なシステム運用・保守サービスを提供します。システム利用者の利便性や、管理者の業務効率を改善する、ワンストップでのサポートデスクも展開可能です。

主な事例

- 自治体システム運用アウトソーシング
- 自治体ヘルプデスクサービス



物流ソリューションサービス

**携帯端末と連動システムで
業務課題解決に貢献します。**

ハンディターミナルをレンタルでお客様にご利用いただけるサービスを業界初・最大の規模で展開しています。棚卸をはじめ、多種多様な業務・ニーズに対応可能なシステムとともに提供します。

主な事例

- 百貨店など流通業の決算棚卸
- 展示受注会の来場者管理



■ヤマタネグループシステム開発・運用

**ヤマタネグループの事業を
IT分野から支えています。**

ヤマタネの情報事業を担うヤマタネシステムソリューションズでは、ヤマタネグループへシステム開発・運用・保守サービスを提供するとともに、グループの情報戦略を統括・提案・管理する役割を担っています。

不動産事業

Real Estate Business

お客様の事業成長に貢献するため、
ビジネス環境パートナーとして
快適な執務空間を提供し続けます。

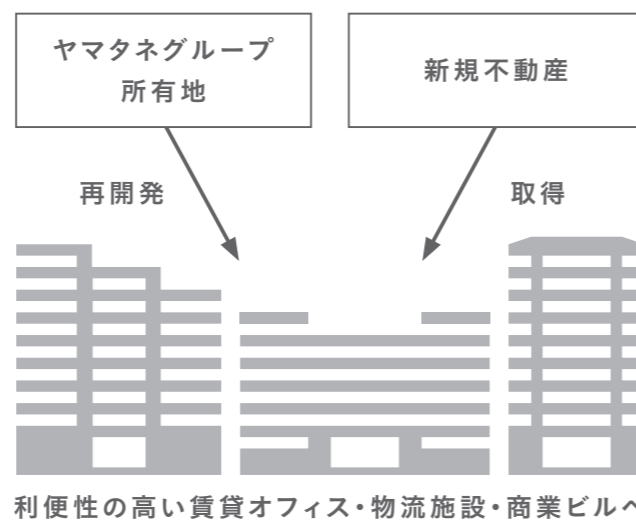


グループ会社の山種不動産を主体に、保有するオフィスビルの賃貸に
重点を置き、物流・商業施設、駐車場等の効率的な運営を実施。
さらに、プロパティマネジメント、不動産の売買・仲介等も展開しています。

不動産運営

東京都心を中心に、利便性の高い
不動産施設を数多く展開しています。

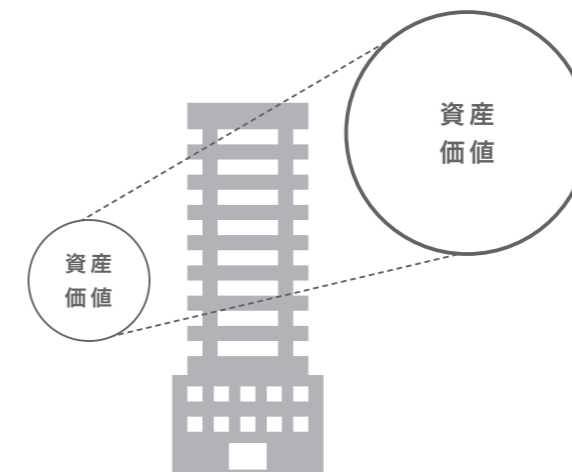
不動産の新しい可能性を求め、グループ所有地を主体に積極的な再開発と新規不動産の取得により、東京都心を中心に多数の賃貸オフィス・商業ビルを展開。その立地に適した利便性の高い不動産施設を提供しています。



プロパティマネジメント

不動産経営を代行し、
資産価値を最大限に高めます。

不動産経営に関するさまざまな業務を代行するプロパティマネジメントにも注力しています。不動産を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、お客様が所有する不動産の資産価値を最大限に高めていきます。



- ① KABUTO ONE
- ② 新宿サンエービル
- ③ 高崎イーストタワー
- ④ ヤマタネビル新館
- ⑤ ヤマタネビル
- ⑥ ヤマタネ藤沢ビル
- ⑦ ヤマタネ五反野ビル
- ⑧ ヤマタネ箱崎ビル
- ⑨ ヤマタネ門前仲町ビル
- ⑩ 山種池袋ビル
- ⑪ 高崎タワー21

物流事業

1924 廻米問屋 山崎種二商店
(現 株式会社ヤマタネ) 創業

1940 山崎種二、辰巳倉庫株式会社
(東京)の経営権を取得
(現 株式会社ヤマタネ)



深川営業所 (1950年代)

1950 東京証券取引所に上場

1954 山崎埠頭倉庫株式会社を吸収合併

1956 東京中央倉庫株式会社を吸収合併

1958 東京運輸株式会社 (現 株式会社ヤマタネロジスティクス)
※旧 株式会社中央ロジスティクス 設立
一般区域貨物自動車運送事業
(現 一般貨物自動車運送事業) 免許取得



計算室

1969 コンピュータを導入 (計算室開所)

1974 ヤマサ産業株式会社 (現 株式会社ヤマタネロジワークス)
※旧 株式会社アクティブ) 設立



当時の荷役の様子

1982 一般港湾運送事業認可

1984 辰巳倉庫株式会社から社名を
「株式会社山種産業」に変更

1993 国際航空運送協会 (IATA) 代理店資格取得

1995 株式会社山種産業から社名を
「株式会社ヤマタネ」に変更

1999 第二種利用運送事業 (国際航空貨物に係る一般混載事業) 認可

2001 海外引越国際規格 FAIM取得

2006 プライバシーマーク取得

2008 AEO (特定保税承認者) 承認取得

2010 AEO (認定通関業者) 認定取得

2018 株式会社中央ロジスティクスから社名を
「株式会社ヤマタネロジスティクス」に変更
株式会社アクティブから社名を
「株式会社ヤマタネロジワークス」に変更

2019 株式会社ヤマタネロジワークス 一般貨物自動車運送事業 許可

2022 株式会社シンヨウ・ロジを子会社化

食品事業

1924 廻米問屋 山崎種二商店創業
※1939年に米穀配給統制法により廃業

1950 山種米穀株式会社設立



山種米穀株式会社本社

1969 大型精米工場 古石場精米工場 (江東区古石場) 開設
※1988年の東京精米工場開設に伴い閉鎖



古石場精米工場

1976 山種食品株式会社
(現 株式会社ヤマタネエキスパート) 設立

1988 東京精米工場 (江東区新木場) 開設
※2022年の印西精米センター開設に伴い閉鎖

1989 山種米穀株式会社が
株式会社山種産業
(現 株式会社ヤマタネ) と合併



東京精米工場

1998 SBS輸入商社資格取得

1999 食品本部ISO9002認証取得 (2002年11月 ISO9001に移行)
※精米工場としては全国初

2001 岩槻精米工場開設
※2022年の印西精米センター開設に伴い閉鎖

2005 岩槻精米工場 胚芽無洗米設備導入

2007 東京精米工場 精米機・精米精選設備更新

2009 産地協働事業 取り組み開始

2014 食品本部 (東京・岩槻精米工場) SQF認証取得
※精米工場としては全国初

2022 印西精米センター開設

2023 株式会社シヨクカイを子会社化

情報事業



株式会社中央経営センター



当時最新鋭の大型コンピュータ (1970年代)



当時のハンディターミナル (1980年代)

1971 株式会社中央経営センターを
ヤマタネグループ電算機共同利用を
目的に設立

1973 山種証券株式会社 (現 SMBC日興証券) の
業務システムを開発受託

1977 辰巳倉庫株式会社 (現 株式会社ヤマタネ) の物流システムを開発
1981 地方自治体サービスシステムを開始

1984 株式会社中央経営センターから社名を
「株式会社山種システムサイエンス」に変更

1989 日本で初めて棚卸システムレンタル事業を開始
(ストックテイ君事業)

1990 物流パッケージ (日本IBM T-PACK/CR、T-PACK/WH) を開発

1991 ソリューション・ラボ・東京株式会社を
IBM AS/400 (現 System i) のインテグレータとして設立
(現 株式会社ヤマタネシステムソリューションズ)

2000 株式会社山種システムサイエンスを株式会社ヤマタネに吸収合併
文書管理システム「Box Manager」開発・販売開始

2004 証券システム部門を外部企業へ営業権譲渡

2007 プライバシーマーク取得

2018 ソリューション・ラボ・東京株式会社から社名を
「株式会社ヤマタネシステムソリューションズ」に変更

2019 スtockテイ君事業 (棚卸システムレンタル事業) を
株式会社ヤマタネより継承
日本アイ・ビー・エム GBS (開発ビジネス)
コア・パートナー資格取得

不動産事業

1948 大同証券株式会社
(現山種不動産株式会社) 設立



山種本館ビル竣工式



山種本館ビル

1966 山種本館ビル竣工
※現 KABUTO ONE (共同事業ビル)

1972 大同証券株式会社から社名を「山種不動産株式会社」に変更

1975 ヤマタネ津田沼ビル竣工

1976 ヤマタネ五反野ビル竣工
ヤマタネ本庄ビル竣工

1978 ヤマタネ藤沢ビル竣工

1979 新宿サンエービル竣工

1983 山種池袋ビル竣工

1984 ヤマタネ門前仲町ビル竣工



新宿サンエービル

1988 ヤマタネ磐田ビル竣工
1989 高崎イーストタワー竣工
ヤマタネビル竣工

1992 ヤマタネ箱崎ビル竣工

1998 高崎タワー21 高層マンション・テナントビル竣工・分譲



ヤマタネビル新館



高崎タワー21

2012 ヤマタネビル新館竣工
ヤマタネ本庄ビル竣工 ※建替ビル
ヤマタネ磐田ビル竣工 ※建替ビル

2015 ヤマタネ津田沼ビル竣工 ※建替ビル

2020 ヤマタネ藤沢ビル竣工 ※建替ビル
ヤマタネ五反野ビル竣工 ※建替ビル

2021 KABUTO ONE開業 ※建替 共同事業ビル